

令和 7 年 3 月 1 3 日

経済環境委員会資料

商工労働部

〔報告事項〕

目 次

- 1 くすり関連施設整備事業について
(コンベンション・薬業物産課) 1 頁
- 2 山田地域観光施設利活用事業について (観光政策課) 3 頁

くすり関連施設整備事業について

[コンベンション・薬業物産課]

1 趣 旨

くすり関連施設については、富山駅北アーバンプレイスでの整備に向け、平成30年度に策定した「くすり関連施設基本構想・基本計画」を踏襲しつつ、社会情勢の変化や整備予定地の変更を踏まえた役割や機能を有する施設となるよう検討をしており、今年度は民間活力導入可能性調査等を実施したことから、その結果を報告するもの。

2 今年度の実施事業内容

(1) 民間活力導入可能性調査

①アンケート調査

新たな候補地での整備の検討にあたり、官民連携事業の可能性を調べるため、民間事業者を対象としたアンケートを実施

分野	回答数	主な回答
薬業	15 社	展示品等の資料貸与、イベント実施等での協力が可能
観光	4 社	観光ツアーに本施設を組み込むことが可能
運営事業者・教育	10 社	入場料等から設計・工事・運営費全てをまかなうのは困難
【まとめ】施設の整備には、「期待している、関与したい」との回答が多くあった。限られたスペースで充実すべき機能・プログラムについては、「体験型展示」や「イベントの実施」との回答が多くあった。		

②サウンディング調査（薬業、運営事業者）

分野	回答数	主な回答
薬業	7 社	・ 富山駅前という立地や、富山のくすり産業を踏まえ、県や容器メーカー等の関連企業も巻き込んだ展開を望む。 ・ 工場見学や出張授業等、イベントの実施での協力が可能。 ・ より詳しく知りたい人は市内他施設に誘導すればよい。(ハブ施設としての役割)
運営事業者	6 社	・ 専門性の高い「くすり」がテーマであることから、設計段階における監修者の存在は必要。運営面でも薬業団体がどのような形で関わるかが重要。 ・ 設計から施工、管理運営までを一括での発注対応は可能だが、チーム組成と提案書作成に時間と労力がかかるため、配慮してもらいたい。 ・ 収益性を鑑みると、料金収入のみでは採算が厳しい。
【まとめ】薬業関連企業からは、協力に前向きな回答が複数あった。一方、運営事業者からは、事業規模や整備スケジュールに関する確認が多くあった。		

(2) くすり関連施設整備推進検討委員会

全4回にわたる委員会を開催し、薬業関連団体、商工、観光、教育等の各分野の有識者から意見をいただいた。

テーマ	主な意見
立地及び施設条件	・既存施設を活用することで整備費用を削減するという方針は良い。 ・新しく箱物を整備するより、今回の立地で事業を進める方が良い。 ・駅周辺で「くすりの富山」を感じられ、PRできる施設になると良い。
ターゲット層	・駅近の立地から、多くの観光客の訪問が期待される。 ・くすりについて学ぶだけでなく、課題を持つ場にもなるようにプログラム内容を工夫し、子どもたちが興味・関心を持ち未来を展望できるような仕組みづくりが必要。
施設機能	・校外学習への配慮（雨天時に児童が昼食をとれるスペース）も必要。 ・市内に多くある社会教育施設を繋ぐ役割を担えると良い。 ・魅力的なオリジナルグッズがあると良い。
展示及び体験内容	・ただ見るだけの展示ではなく、体験型（体を使った）展示を中心とすべきである。 ・リピーター集客の観点からも、本施設でしか味わえない体験等、楽しく、面白く、発見できる内容があると良い。
運営手法等	・市の施設を民間事業者が運営する場合、独立採算は難しく、公的負担は必要。

(3) 学生向けアンケートの実施

若い世代が利用したくなる施設の機能・プログラムについて、薬学を学ぶ富山北部高校生（くすり・バイオ科）及び富山大学生（薬学部）にアンケートを実施し、約400人から回答を得た。その結果、3D映像や体験型の展示、アーティストやアニメなどとのコラボ企画を望む声が多く、次いで、くすりの富山の歴史紹介や薬業関連企業の紹介といった回答があった。

3 今後の予定（案）

年度	業務内容
令和7年度	・賃貸借条件の整理及び賃貸借に係る基本協定書の締結 ・事業者募集のための募集要項及び要求水準書の作成 ・事業者の公募
令和8年度以降	・事業者の決定 ・賃貸借契約の締結 ・施設の設計～整備

山田地域観光施設利活用事業について

[観光政策課]

1 概要

牛岳温泉スキー場及び周辺観光施設について、多くの市民や観光客に訪れてもらえるよう持続可能な運営方法や施設整備、既存施設との連携等を検討しており、今年度は、施設の利活用の可能性や事業手法等について、民間事業者の意見も参考とするためにサウンディング調査を実施した。

2 サウンディング調査

アウトドア分野でのレクリエーション・観光施設の運営実績を有する民間企業に対してサウンディング調査への参加を募集したところ、5社の事業者が応じた。

No	施設名	意向	意見（一部抜粋）
1	牛岳温泉スキー場	施設相互に連携が図られ、一体的な利活用が可能	グリーンシーズンの活用や他の施設と連携した運営アイデアにより運営が可能。
2	牛岳温泉健康センター		収支改善は図れるが、施設の特性上、多額の経費を要する。
3	牛岳オートキャンプ場きらら		情報発信を工夫することで、集客が可能。
4	牛岳運動広場等利用促進施設てんころの館		飲食機能と眺望を活かした施設整備により集客を図る。
5	牛岳ハイツ（スキー場頂上）	利活用の意向はなく、解体が望ましい	跡地の防風対策として、柵の設置が考えられる。
6	牛岳温泉グリーンパレス（ゲレンデ下部中央）		跡地には、リフト券売り場やレストラン、トイレ等の機能を有する拠点施設の設置が必要である。
【共通事項】			
既存施設を改修し利活用することは、長期的な改修計画の見通しが困難で修繕に関するリスクが高いことや施設整備規模が大きくないため施工業者の事業への参画意向が低いと想定され、設計・施工・維持管理を一体的に実施することは難しく、指定管理者制度による運営が望ましい。			

3 事業スキーム（案）の骨子

	再整備のポイント
利活用施設	牛岳温泉スキー場、牛岳温泉健康センター、牛岳オートキャンプ場きらら、牛岳運動広場等利用促進施設てんころの館
方針	一体的な利活用
運営手法	自由度の高い指定管理（10年）
市の負担	- 施設の躯体やインフラ部分等の整備費（指定管理者が実施する魅力向上に繋がる施設整備内容と関連性が高いことから、指定管理者の提案等も取り入れながら進める。） - 指定管理委託料
事業者の負担	- 魅力向上に繋がる施設整備費 - 維持管理運営費（民間のノウハウによる運営の工夫により、利用料金収入の増加を図る。）

牛岳ハイツ（休止中）及び牛岳温泉グリーンパレス（条例廃止済）は解体する。

4 今後の主なスケジュール（案）

年度	業務	
	事業者選定	施設整備
令和7年度	・ サウンディング調査（事業費や要求水準書案等の内容について） ・ 事業者公募及び提案書の提出	・ 牛岳温泉グリーンパレスの解体設計
令和8年度以降	・ 指定管理者の決定	・ 解体施設の設計及び解体工事 ・ 利活用施設の改修設計（市と指定管理者が連携して進める）及び改修工事
	リニューアルオープン（令和9年度末又は令和10年度）	